

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【公民科／公共】

1. 対象（ 1年 ）

学習面や生活面等で抱える課題が様々で、多様な生徒が在籍している。現在は対話のプロセスを体験することを通し、継続的に支援している。

2. 単元名

「市場経済の機能と限界」（全7時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念、企業の役割とはたらき、戦後の日本の経済の発展の歴史、GDPやGNIなど国の経済をはかる「ものさし」、財政と租税のしくみと機能について理解する。
思考力、判断力、表現力等	「市場経済の機能と限界」を事例にして、市場の失敗の事例とその対応方法について考察し、表現する。「職業選択」を事例に、社会の急激な変化や、それに対応する社会的な起業の意義とともに、働くことの意義について考察、表現する。
学びに向かう力、人間性等	現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。

4. 本時の目標

【知識及び技能】市場メカニズム、市場の失敗、政府の経済的役割に関する基本的な知識を理解する。

【思考力・判断力・表現力】市場メカニズムについて、具体例をあげて説明する。市場の失敗が生じる理由を考察し、具体的な例をあげて自分の言葉で説明する。

【学びに向かう力、人間性等】市場メカニズムの理解をグループで共有しようとしている。また、市場の失敗の例を主体的に考え、表現しようとする。

5. 授業展開【**本時**・単元】 ※本時または単元いずれかに○を付けてください。

解決したい課題や問い
市場メカニズムはなぜ万能ではないのか。

考えるための材料A	考えるための材料B	考えるための材料C
年間のきゅうりの価格の変化の変化のグラフを提示し、市場メカニズムが働いていることを確認する。	沖縄での宿泊料金の変化の変化のグラフを提示し、市場メカニズムが働いていることを確認する。	市場メカニズムの限界について例示し、市場メカニズムが働かない場合があることを確認し、類似例を考える。
想定される活動		
需要量がほぼ一定のきゅうりの価格が変動する理由について、グループでジャムボードを使って意見を出し合い、話し合った結果を発表する。	供給量がほぼ一定のホテルの宿泊価格が変動する理由について、グループでジャムボードを使って意見を出し合い、話し合った結果を発表する。	資料から市場メカニズムには限界があることを理解し、類似の例を考え、ジャムボードに記入し、グループで整理する。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

<考える材料C>

- ①自分の電気の使い方などをジャムボードで発表
- ②電気料金の値上げ記事を見せながら、もう料金が上げられないことに気づく
同時に市場メカニズムが働かないことにも気づく
- ③なぜ、このような規制を政府がしているのか考え、ワークシートにまとめる
- ④市場メカニズムが働かない類似の場面をジャムボードで共有する
- ⑤ジャムボードの意見をグループで整理する

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・経済は難しくて全体的によくわからない。
- ・用語が難しい。
- ・市場メカニズムは万能ではないことがわかった。
- ・市場メカニズムは限りある資源の再分配に大きな役割を担っている。
- ・市場メカニズムには限界があり、それに対して政府が経済的役割を担っている。
- ・市場が独占・寡占の状態では、市場メカニズムは上手く機能しない。
- ・政府の役割が大きくなると財政への負担が増加する。
- ・公共サービスには市場メカニズムのしくみは適さない。
- ・市場メカニズムに介入しすぎている施策はあるのだろうか。
- ・市場メカニズムだけだと私たちの暮らしは成り立っていない。
- ・市場メカニズムと財政政策のバランスが大切。
- ・政府に規制してもらった方が安心
- ・資本主義経済でない国ではどのような経済のしくみがあるのか。
- ・需要と供給の関係が成立しない市場では市場メカニズムは機能しない。
- ・いざという時のものは市場メカニズムのしくみに合っていない。
- ・税金の使われ方が理解できた。
- ・税金は強制加入の保険のような一面がある。

評価規準	①グラフの事例から市場メカニズムについて説明している。 ②市場の失敗が生じる理由を考察し、自分の考えを表現している。 ①・②の両方○で〔a〕 どちらか片方の○で〔b〕 ①・②のどちらにも○がつかない〔c〕
評価方法	ワークシート、Jambord、（発表）